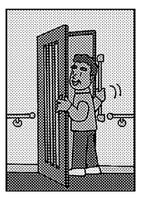
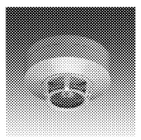
独居老人安否確認システム



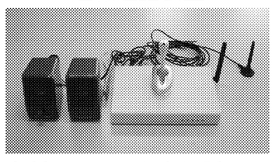
認知症の方の外出監視

室温監視
熱中症監視



火災探知機

通報通話装置



各種センサーと通報通話装置間は無線で通信

NTTドコモ
FOMA網活用

アクセスコールボタンで会話

安否の確認
携帯電話にて通報通話装置宛て電話をかける。
通報通話装置は自動着信、何の操作もせず会話が出来る(安否の確認)
各種センサー動作で自動メール通報

独居老人の介護度合いによって、
各種センサー追加監視

マイコン応用電子機器ハード・ソフト設計・製造
遠隔監視・計測・制御システム

株式会社 高東電子
〒651-2148　神戸市西区長畑町596
TEL078-961-2107　FAX078-961-2108
http://www.koutou.co.jp　e-mail　info@koutou.co.jp

KOBELCO
神戸製鋼グループ

総合プラントエンジニアリング

Shinko EN&M
Shinko Engineering & Maintenance Co.,Ltd.

株式会社 神鋼エンジニアリング&メンテナンス

事業内容
●製鉄プラント付帯設備の設計・製作・据付・改修工事
●電気・計装・コンピューター設計・製作・据付・保全工事
●熱診断、省エネ改善、環境改善
●ボイラー容器・機器・配管製作・据付
●コンピューターシステム、ハードメンテナンス、ソフト開発
●各種プラントの設計・機器調達・建設・メンテナンス

本社　〒657-0846　神戸市灘区岩屋北町4丁目5番22号　TEL.078-803-2901 FAX.078-803-2909
URL http://www.shinkoen-m.jp

活力ある未来目指して
新たなる展開へ
兵庫・神戸産業界

▲ 神戸市のメリケン波止場周辺

成長する姿 内外に示そう

2013年9月中間決算では、輸出ウエートの高い大手企業の多くが軒並み増収増益となった。神戸税関がまとめた13年12月分の貿易概況速報でも神戸港の輸出入総額は前年同月実績を8・6%上回り、10カ月連続の前年同月比プラスを記録するなど、景気回復の片鱗をうかがわせた。

この好ましい変化は、安倍政権の経済政策「アベノミクス」の〝3本の矢〟のうち「金融緩和」と「財政出動」および、それに端を発する円安のおかげと言える。これまでの〝2本の矢〟は、リーマン・ショック以降の閉塞した雰囲気を払い除け、不安は残るものの、久しぶりに「将来は明るい」という期待感を抱かせた。しかし今後、デフレから脱却して景気を本格回復していくには〝3本目〟である「成長戦略」に沿って民間企業が自ら行動する新たな展開が欠かせない。従来の待ちの姿勢のままでは、真の景気回復の実現は望めないだろう。

◇　◆　◇

幸い、兵庫・神戸には企業の新たな挑戦を支援する基盤が豊富にある。神戸港などの港湾施設は、成長著しいアジア諸国への進出など、海外とビジネスするには便利このうえない存在だ。医療産業都市は新しい技術やアイデアを生み出す呼び水となり、地域企業が新分野への門戸を開くきっかけをつくる役割も期待されている。大型放射光施設「SPring-8」、スーパーコンピューター「京」などの科学技術基盤は最先端の技術・製品を生むのに一役買う。

この地の中堅・中小企業群が、これらの基盤を身近な存在としてもっと使いこなし産業創出に役立てていくことで今後、世界規模で活躍する企業が、ここから新たに生まれるといった日もそう遠くないのかもしれない。

兵庫・神戸は阪神・淡路大震災の未曽有の被害から見事に復活を遂げた貴重な実績・経験がある。今後はこうした底力を生かし、あまたの支援基盤も活用しながら、成長していく姿を内外に見せつけよう。それが受けた震災支援に対する恩返しにもなるはずだ。わが国が再び飛躍する一歩を、ここ兵庫・神戸からはじめよう。

川崎重工グループは「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」という理念のもと、広範な領域における先端技術と、その総合力で、地球環境との調和を図りながら、持続可能な未来社会の実現に向けて、新たな価値を創造しています。陸・海・空はもとより、宇宙や深海にまで及ぶ製品・システムは、その成果といえます。川崎重工グループは、これからも自らのテクノロジーをより高いレベルへと磨きつづけ、人と地球へのやさしさを次々にカタチにしていきます。

イラストは右上から ◎産業用ロボット ◎新型高速鉄道車両 efSET ◎油圧ポンプ ◎ボーイング787 ドリームライナー ◎ホイールローダ、左上から ◎モーターサイクル ◎セメントプラント ◎LNG船 ◎発電用ガスタービン ◎発電用ガスエンジン

Kawasaki
Powering your potential

技術で世界を輝かせる。

世界が求めるニーズはより多様化し、複雑に進化し続けています。
私たちはその一つひとつの声を叶えるために、技術を磨いてきました。
そのなかで培われた、世界をリードする素材・機械ビジネス。
私たちは、いち早くニーズに応えるというだけでなく、
技術で驚きや感動を与えることを大切にしています。

私たちがつくる、より強くしなやかな素材から、新たな価値が生まれる。
私たちがつくる、より低燃費の機械が働くことで、ある国の礎が築かれる。

私たちは技術で社会や人を繋げ、より輝く世界へと、導いていくために、
挑み続けていきます。

http://www.kobelco.co.jp/
KOBELCO